

モウセンゴケ

(学名: *Drosera rotundifolia*)

[モウセンゴケ科 モウセンゴケ属]



▲群生するモウセンゴケ



▲モウセンゴケの花

モウセンゴケは、山地から亜高山にかけての、日当たりの良い酸性土壌の湿地に生える多年草です。コケと名がつきますが、コケの仲間ではなく被子植物であり、白い小さな花も咲かせます。只見町では、浅草岳の雪田草原や、溪流沿いの岩の隙間や湿地などで見ることができます。

モウセンゴケの名は、ミズゴケ上に群生するさまを毛氈(もうせん：獣毛等をフェルト状にした敷物)に見立てて名付けられたものと言われています。

葉の先で朝露のように輝いているのは、モウセンゴケの腺毛から分泌された粘液です。これは甘い匂いを発し、その匂いに虫たちは誘われ、葉の上に飛来します。粘液に捕まり、虫がもがくと、その刺激で葉はゆっくりと閉じ始め、それと同時に消化酵素が分泌されます。約24時間ほどで消化は完了し、再び葉は開き、次の獲物を待ち受けます。

モウセンゴケは食虫植物であり、恐ろしいイメージが先行しますが、英語ではSundew(太陽の露)という名を持ち、実際、キラキラとして、とても綺麗な植物です。

可憐な姿ながら、栄養の乏しい場所で食虫という特殊な戦略で逞しく生きるモウセンゴケを探してみてください。可愛らしい花を咲かせている「太陽の露」に出会うことが出来るかもしれません。

特別企画展示

「只見の昆虫たちー只見自然環境基礎調査の報告」

期 間：7月16日～10月10日

場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム(只見町ブナセンター)特別展示室

ブナセンター講座

「只見地域で見られたカミキリムシ類とその生態」

日 時：7月30日(土) 13:30～15:30

場 所：ただみブナと川のミュージアム(只見町ブナセンター)セミナー室

講 師：榎原寛氏(森林総合研究所)

参加費：入館料のみ

自然観察会

「昆虫採取と観察会」

日 時：7月31日(日) 9:00～12:00

場所：梁取ただみ観察の森(学びの森)

※参加には事前申し込みが必要です

問い合わせ先：只見町ブナセンター 電話0241-72-8355

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください